

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>1 路線バスに係る国庫補助金の補助上限額の漸減幅の緩和について</p> <p>路線バスの利用者は減少傾向にあり、バス事業者の運営状況が厳しく、行政補助がなければ運行を継続することが難しい状況です。</p> <p>国庫補助金「地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱」について、フィーダー系統の補助上限額は、地域公共交通網形成計画の策定、地域公共交通再編実施計画の認定がされていない場合、毎年度漸減していくことが示されました。</p> <p>当市においては、横川目線（北上駅～横川目）が対象路線であり、算定式の変更により、バス事業者の負担が増えることとなりました。当市では、上記2つの計画策定に向けて取り組んでいるところですが、市全体の公共交通における全面的な見直しを伴うことから、相当の時間を要することが見込まれ、バス事業者への補助額が減っていくこととなります。</p> <p>[要 望]</p> <p>国の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱」における、補助上限額の漸減幅を緩和するよう働き掛けを要望します。</p>	<p>広域地域間幹線に接続する地域内フィーダー系統路線については、生活交通の利便性の向上と効率的な路線運行等を図るため重要な役割を果たしているものと認識しております。</p> <p>このことから、地域内フィーダー系統確保維持費補助における補助上限額の拡大など、バス路線の維持確保に係る財政支援の一層強化を国へ引き続き要請していきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>2 2019ラグビーW杯に向けた取組みについて</p> <p>2019ラグビーW杯は、希望郷いわて国体・いわて大会と同様に震災復興の象徴として被災地の人々に大きな力を与えるとともに、世界中から寄せられた支援に対し感謝の気持ちを表す絶好の機会となります。</p> <p>当市といたしましては、いわて国体開催後においても岩手県及び県内自治体と連携しながらキャンプ地を招致し、県内観光と連携したスポーツツーリズムに取り組むことにより、県民一体となって2019ラグビーW杯の開催気運を盛り上げるとともに、地域経済の活性化につなげてまいりたいと考えております。</p> <p>上記を踏まえ、下記について要望します。</p> <p>[要 望]</p> <p>広域での経済効果も踏まえ、今後組織化が予定されている「ラグビーワールドカップ2019釜石開催準備委員会等」の枠組み等を活かしながら、大会観戦者向けに宿泊・輸送・県内観光とタイアップを図ったスポーツツーリズムの推進など、県が主体となって県内の市町村が連携協力する体制を構築するとともに、キャンプ地の招致活動に当たっては、県が有するネットワークの活用も含め、力強いサポートを要望します。</p> <p>例1) 静岡県：2019ラグビーW杯・2020東京五輪推進本部設置 (2016. 4. 14) 会場整備、交通、警備など各種計画の策定に着手。 チーム合宿地の誘致活動を本格化させるとともに、道路改修や宿泊施設の確保、観光・行楽との両立についても対策を講じる。</p> <p>例2) 長野県：知事が菅平高原のキャンプ地誘致を正式表明 (2019ラグビーW杯組織委員会に県内実施を働きかける)</p>	<p>現在、準備委員会において釜石開催に向けた準備に本格的に取り組む実行組織となる「ラグビーワールドカップ2019釜石開催実行委員会（仮称）」について、平成29年4月の設立を目指して準備を進めているところです。同組織では、県内の市町村など130規模の団体の参画を得てオール岩手で開催準備を進めるほか、東北管内の経済、観光等の関係団体の協力を得ながら、広域連携による宿泊・輸送・観光等の受入態勢を構築できるよう準備を進めていきます。</p> <p>ラグビーワールドカップ2019TMの公認チームキャンプ地には、県内から5市町が立候補したところであり、ラグビーワールドカップTMの釜石開催を契機に1つでも多くのキャンプが県内で実施されるよう、引き続き、サポートを行ってまいります。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>A</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>3 北上川の内水排水ポンプの増強及び堤防の整備について (1) 大曲排水機場のポンプ機能の増強 北上川右岸にある大曲排水機場は、平成19年9月の洪水時にポンプをフル稼働したにもかかわらず、市道とJR東北本線との立体交差部で冠水の恐れが生じたことから、幹線道路の通行止めの措置をとらざるを得なくなり、大きな混乱を来しましたが、近年の気象状況に鑑みれば、今後、平成19年以上の洪水が危惧されることから当該地区の内水対策は焦眉の問題となっています。</p> <p>[要 望] 都市機能の保全と災害緊急時の安全な交通路を確保するため、ポンプ機能の増強について県からも国へ働きかけていただきますよう要望します。</p>	<p>大曲排水機場は、国において平成14年度までに完成しております。 しかし、排水機場の設置後、背後地の市街地化が進んでいることや、昨今、局地的に短時間で降る大雨が多発していることから、今後、水防情報の速やかな共有に努めるなど、減災への取組を強化するとともに、排水ポンプ車の派遣等による機能の増強について国土交通省への要望を行っていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>
<p>3 北上川の内水排水ポンプの増強及び堤防の整備について (2) 相去町下谷木地区の堤防等整備 北上川右岸の相去町下谷木地区は、平成19年9月の洪水で北上川の流水が大関沢川との合流地点から逆流したことにより、同地区の1団地が孤立し、3世帯が自治公民館に避難する事態が発生しており、この地区では、浸水被害防止対策が緊急の課題となっています。</p> <p>[要 望] 浸水被害対策として、北上川と大関沢川の合流点付近までの堤防の延伸整備と排水機場等の整備について県からも国へ働きかけていただきますよう要望します。</p>	<p>無堤防区間が多い北上川中流部（概ね紫波町～奥州市の区間）においては、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水に伴い、5年間に2度も甚大な浸水被害を受けています。 国では、北上川中流部緊急治水対策事業として、まずは住家への浸水被害の軽減を図ることを優先して進めることとしており、当該地区については他地区の進捗を見ながら対応すると聞いています。 北上川の治水対策は、県としても重要な課題であり、国に対し整備促進の要望を行っていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>3 北上川の内水排水ポンプの増強及び堤防の整備について (3) 小鳥崎地区の堤防整備 北上川右岸の小鳥崎地区は、平成19年9月の洪水で北上川の流水が地区内に流入し、住家2戸、非住家3戸が床下浸水する事態が発生しております。 また、二子地区及び黒岩地区の堤防整備が完了されることにより、洪水時、両地区の下流側で堤防が未整備である小鳥崎地区から里分地区への浸水が大変懸念されており、この地区の浸水被害防止対策が緊急の課題なっています。</p> <p>[要 望] 浸水被害対策として、二子地区以南珊瑚橋北側までの堤防の整備延伸について、県からも国へ働きかけていただきますよう要望します。</p>	<p>無堤防区間が多い北上川中流部（概ね紫波町～奥州市の区間）においては、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水に伴い、5年間に2度も甚大な浸水被害を受けています。 国では、北上川中流部緊急治水対策事業として、まずは住家への浸水被害の軽減を図ることを優先して進めることとしており、他地区の進捗を見ながら対応すると聞いています。 北上川の治水対策は、県としても重要な課題であり、国に対し整備促進の要望を行っていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B</p>
<p>4 北上市内の一般国道4号の4車線拡幅と整備について (1) 北上工業団地入口以北の4車線化 北上工業団地入口から花巻市境までの区間につきましては、奥州市や金ケ崎町の工業団地を含め各工業団地から北へ向かう幹線物流ルートであることや、広域医療の基幹病院として救急医療の中核となっている県立中部病院への花巻市方面からの救急車両のメインルートとなっていますが、いまだに2車線区間であることから渋滞が著しい区間となっています。</p> <p>[要 望] 4車線化の事業着手に向け、北上市・花巻市・金ケ崎・奥州市の3市1町において国への要望活動を行って参りますので、早期の都市計画決定を含め、県の強力なサポートをお願いします。</p>	<p>一般国道4号の北上工業団地入口から花巻市境までの4車線拡幅の延伸については、物流を支えると同時に地域間の交流・連携を促進し、快適・安全な生活を支えるものであることから、引き続き国に対して整備を要望していきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B</p>
<p>4 北上市内の一般国道4号の4車線拡幅と整備について (2) 鬼柳地区の立体横断施設等整備 4車線化された区間のうち、鬼柳地区の一般県道北上和賀線との交差点は、通学路として交通量の多い国道の横断歩道を利用している状況となっています。</p> <p>[要 望] 交通量が多い状況で、重大事故の発生が懸念されることから、交差点への立体横断施設等の早急な設置に向けて特段のご配慮をお願いします。</p>	<p>御要望の鬼柳地区への立体横断施設等の設置については、現地状況等から現状では整備が難しいと国から聞いています。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>5 一般国道107号の整備促進について 一般国道107号は、太平洋と日本海を結ぶ、物流、観光を支える重要な役割を担う道路であり、平成9年4月には一般国道4号から和賀町長沼までのバイパス区間が供用開始され、藤根地区の家屋連担区間の交通事故や騒音、危険箇所の解消が図られておりますが、和賀町堅川目、横川目地区の家屋連担区間においては依然として歩行者等が危険な状態です。</p> <p>[要 望] バイパス事業の延伸等により、交通安全対策を講じられるよう要望します。</p>	<p>一般国道107号の御要望区間におけるバイパス事業の横川目方面への延伸については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の整備は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>
<p>6 一般国道456号の整備促進とルート変更について 一般国道456号は、盛岡市を起点に北上川の東側を宮城県登米市まで縦断しており、沿線市町村の産業、観光等の重要な機能を担い、一般国道4号を補完する幹線道路であります。幅員が狭く歩道も一部を除き設置されていない状況となっております。</p> <p>[要 望] 当市においては、口内町新町、荒町地区の拡幅改良及び歩道設置、もしくは、同町の久田から松坂を経由して青木田まで通じるバイパスの建設を要望します。</p>	<p>拡幅改良や歩道設置については、各地域から多くの要望があることから、必要性や緊急性の高い箇所から整備を進めています。一般国道456号の御要望の箇所については、今後の交通量の推移、地域の沿道状況や県全体の進捗等を踏まえ検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。 また、久田から青木田地区のバイパス化については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>
<p>7 主要地方道の整備促進について (1) 花巻北上線 主要地方道花巻北上線は、北上川の川東地区を南北に縦断する広域的な幹線道路ですが、当市の立花地区から黒岩地区の区間には歩道のない箇所があり、北上川が増水した際には当該道路と隣接する自転車道が水没して利用できないこともあるなど、自転車、歩行者の通行に危険な状況となっております。</p> <p>[要 望] これらの課題解消に向け、車道の拡幅と歩道の設置を要望します。</p>	<p>主要地方道花巻北上線の立花地区から黒岩地区の道路拡幅整備及び歩道設置については、要望箇所の地形が厳しい状況から、早期の整備は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>7 主要地方道の整備促進について (2) 花巻平泉線</p> <p>主要地方道花巻平泉線は、当市と花巻市、金ヶ崎町等を結ぶ、温泉観光等の重要な幹線道路であります。一部に拡幅工事の未着手区間があることや夏油川に架かる橋が狭いことなど、長年にわたり懸案となっている課題があります。</p> <p>[要 望]</p> <p>つきましては、和賀町山口地内の狭窄箇所の早期拡幅改良と和賀町岩崎地内で冬期間の通行に危険が大きい新田橋の架け替えを含めた道路改良を要望します。</p>	<p>主要地方道花巻平泉線の山口地区の拡幅改良については、かつて道路整備を進めていたところですが、用地交渉の難航区間があり整備を中断した経緯があります。現在、関係者との計画協議を継続しています。</p> <p>新田橋の架け替えについては、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p>	<p>県南広域 振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>
<p>7 主要地方道の整備促進について (3) 北上東和線</p> <p>主要地方道北上東和線は、花巻市東和地区の中心部と北上市を結ぶ道路であり、開通した平成大橋を経由して工業団地、国道4号、県立中部病院等に至る道路ですが、当該路線のうち、花巻市境の臥牛地内から更木地内までの区間は、幅員が狭く、高低差の著しい状況が連続する区間であり、特にも冬期間の車両通行に危険な状況となっております。</p> <p>[要 望]</p> <p>緊急時などには、臥牛地区をはじめ花巻市東和地区から県立中部病院まで最短のルートとなる重要路線であることから道路利用者の安全確保のため、拡幅整備を要望します。</p>	<p>主要地方道北上東和線の臥牛から更木までの拡幅整備については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の整備は難しい状況です。</p>	<p>県南広域 振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>8 一般県道の整備促進について (1) 夏油温泉江釣子線 一般県道は、国道等の基幹道路と市内各地域を広域的に結び、主要施設へのアクセス、国道の補完といった重要な役割を担い、通勤通学等日常の市民生活に欠かせない重要路線ですが、近年、交通量が増加し、施設の改良整備が緊急の課題となっています。つきましては、交通安全の確保と道路機能の向上を図るため、次の事項について要望します。</p> <p>一般国道107号と市の主要な観光地である夏油高原地域を結ぶ重要な路線ですが、江釣子十字交差点から南側の住宅連担区間及び和賀川右岸の広表橋から堤防までは幅員が狭く、歩道もない状況となっております。</p> <p>[要 望] この区間の歩行者及び自転車の安全確保のため、交差点改良と交通安全施設の整備を要望します。</p>	<p>交差点改良については、その形状や交通流の状況等を勘案し、必要性や緊急性の高い箇所から整備を進めています。 江釣子十字交差点については、今後の交通量の推移や県全体の進捗等を踏まえ検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。 また、同交差点から南側の住宅連担区間の歩道等の交通安全施設の整備についても同様に検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。 広表橋から和賀川右岸堤防までの区間の交通安全施設整備については地域課題を抽出のうえ関係機関と連携し課題の解決に取り組んでいます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>
<p>8 一般県道の整備促進について (2) 相去飯豊線 当路線は、当市の中心市街地を縦断しており、通勤通学や買物等市民の日常生活には欠かすことのできない重要路線であります。中心商店街通りの一部区間には歩道が設置されておらず、歩行者の安全確保に不安をきたしております。</p> <p>[要 望] 誰もが歩いて暮らせるまちづくりのため、中心市街地の歩行空間の安全確保が求められており、県道北上停車場線から市道大天満大曲線交差点までの両側区間に歩道の整備を要望します。</p>	<p>歩道設置等については、各地域から多くの要望があることから、必要性や緊急性の高い箇所から整備を進めています。 御要望の箇所については、今後の交通量の推移、地域の沿道状況やまちづくりの計画、県全体の進捗等を踏まえ検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>8 一般県道の整備促進について (3) 後藤野野中線 当路線のうち、一般国道107号から県道花巻和賀線交差点までの区間は、幅員が狭く歩道もない状況となっておりますが、近年、後藤野工業団地への通勤車両や大型車両の通行が増加していることに加え、工業団地への企業立地や岩手中部広域行政組合によるごみ焼却施設の平成27年10月からの稼働により、今後、大型車両等の通行が増加しております。</p> <p>[要 望] 事業着手されている国道107号交差点から起点側300mに引き続いて、県道花巻和賀線との交差点までの歩道設置と道路の拡幅整備を要望します。</p>	<p>歩道設置及び道路拡幅整備については、各地域から多くの要望があることから、必要性や緊急性の高い箇所から整備を進めています。</p> <p>一般国道107号交差点から起点側の約300m区間については、平成28年度に工事着手を予定しており、引き続き早期整備に努めていきます。</p> <p>御要望の区間への歩道設置及び拡幅整備については、今後の交通量の推移、地域の沿道状況やまちづくりの計画、県全体の進捗等を踏まえ検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>
<p>9 市道の県道認定について (1) 市道飯豊赤坂線 (L=12,310m) 当市の重要幹線市道及び隣接市町との広域幹線道路として重要な機能を有する次の道路について、県道に昇格されるよう要望します。</p> <p>本路線は、一般国道4号及び県道相去飯豊線のバイパス的な役割を担い、これら路線の交通緩和を図るうえで極めて重要な路線となっております。</p> <p>全線開通した後は、東北縦貫自動車道北上江釣子インターチェンジ及び北上金ヶ崎インターチェンジを最短で直結し、また、北上流通基地をはじめ市内の工業団地等への物資の搬入に大きな役割を果たすとともに、現在、当市が事業を実施中の飯豊北線を含めて花巻市まで至ることになり、沿線にある県立中部病院や北上総合運動公園へのアクセス道路にもなる道路となっております。</p> <p>[要 望] 国道4号を補完し、花巻市と金ヶ崎町を結ぶ広域的な道路として、県道への認定を要望します。</p>	<p>県道昇格については、市町村間を結ぶ道路など道路法に規定する認定条件を具備する必要があるとあり、これらの要件を満たした路線について、地域の道路網における市町村道との機能分担や、整備・管理する必要性等を総合的に判断の上行うこととしており、現在のところ、御要望の区間の県道昇格は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>9 市道の県道認定について (2) (仮称)上浮田村崎野線 (L=9,106m) 本路線は、当市と花巻市東和町を結ぶ幹線道路であり、一般国道4号から一般国道456号に至る通勤通学、産業・観光道路としての重要な役割を担っています。</p> <p>[要 望] 平成21年に開院した県立中部病院へのアクセス道路として極めて重要な路線であることから、早急に県道認定を行うよう要望します。</p>	<p>県道昇格については、市町村間を結ぶ道路など道路法に規定する認定条件を具備する必要があるため、これらの要件を満たした路線について、地域の道路網における市町村道との機能分担や、整備・管理する必要性等を総合的に判断の上行うこととしており、現在のところ、御要望の区間の県道昇格は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>
<p>9 市道の県道認定について (3) 川原町南田線(主要地方道北上東和線の交換) 平成大橋が完成し、地域周辺部との交流に大きく寄与しております。特に、緊急車両の通行にあっては、中部病院への所要時間は、平成大橋完成前に比べ5分以上短縮されるなど、大きな効果を発揮しております。また、本路線と主要地方道北上東和線との交換に向けた協議を行っているところですが、当市では、交換に向けて平成30年度を目標に川原町南田線の歩道整備を進めており、主要地方道北上東和線については、地域から早期の歩道整備や橋の補修等について要望があります。</p> <p>[要 望] 主要地方道北上東和線については、歩道の整備及び昭和橋の長寿命化対策を行った上で路線交換を行っていただけるよう要望します。</p>	<p>歩道設置等については、各地域から多くの要望があることから、必要性や緊急性の高い箇所から整備を進めています。御要望の箇所については、今後の交通量の推移、地域の沿道状況やまちづくりの計画、県全体の進捗等を踏まえ検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。昭和橋については、現在、補修調査・設計を実施中であり、路線交換後の供用について支障がない範囲での修繕を検討しています。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B、C</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>10 空家等対策への支援について</p> <p>(1) 空き家対策総合支援事業への支援について</p> <p>本市では、空家等対策に係る条例及び計画に基づく総合的な対策を実施するため、更なる支援が必要となっています。ついては、県における市町村への支援制度等の構築について要望いたします。</p> <p>空き家の改修、除却等に対して国が補助を行う空き家対策総合支援事業について、国費下限額が単年1,000万円となっており、市においては実施に際し事業予算へのさらなる支援が必要となっています。</p> <p>[要 望]</p> <p>空き家対策総合支援事業について、市負担分に対する県の支援制度を構築するよう要望します。</p>	<p>空き家等対策計画により実施する市負担分の支援については、県の補助金制度はありませんが、補助金よりも利活用の需要が多い、民間事業者が利用できる融資について、県は金融機関に働きかけを行っています。</p> <p>具体的には、金融機関も含めた連絡会議である「岩手県空家等対策連絡会議」において、「中古住宅を購入しリノベーションする場合の融資」や、「新規創業者でも空き家を活用した経済合理性の高い事業の融資」といったものを検討していくこととしています。</p> <p>なお、平成29年度においては、空き家バンクを利用した市町村の移住促進事業への支援を目的として、補助メニューを追加することとしています。</p>	県南広域振興局	経営企画部 土木部	C
<p>10 空家等対策への支援について</p> <p>(2) 住宅インスペクション制度について</p> <p>中古住宅市場の活性化に寄与し、空家等の売買・賃貸の流動化を促すためには、国のガイドラインに沿った統一的な住宅インスペクション制度を導入することが必要となっています。</p> <p>[要 望]</p> <p>県において、県内で統一的に広く活用できる住宅インスペクション制度の導入や実施体制の整備をするよう要望します。</p>	<p>既存住宅インスペクションについては、日本E R I株式会社等の民間機関で受けることが可能となっています。</p> <p>また、今後もさらに当該インスペクションを普及するため、県では国土交通省に登録されている日本建築士会連合会のインスペクター養成講習会の開催を支援するとともに、県内の建築士に対して受講を促すことにしています。</p>	県南広域振興局	土木部	B
<p>10 空家等対策への支援について</p> <p>(3) 総合的な空き家ストック対策の取組方針について</p> <p>県では空き家活用人材育成支援事業等、公民連携やリノベーションに係る事業を実施していますが、一方、市町村における対策は、管理不全空家等の除却、管理、建替の促進等、総合的なストック対策を重点的に推進する必要が生じています。</p> <p>[要 望]</p> <p>北海道、兵庫県等の事例を参考に、管理不全空家等対策を含めた空家等対策の推進に関する特別措置法における市町村事務全般に対する取組方針（計画）を決定・公表し、支援事業を実施するよう要望します。</p>	<p>平成27年5月に施行された「空き家対策特別措置法」により、市町村の役割として「危険な空き家に対する指導等の措置の実施」、県は「市町村に対する情報提供や技術的助言等の支援」を行うこととされています。</p> <p>県では、国や民間の専門家による市町村職員も含む行政職員向けの勉強会の実施、民間事業者も対象とした勉強会への県職員の派遣といった取り組みを行っているところであり、今後も、市町村や不動産関係団体、金融機関と連携しながら、空き家等対策に取り組んでいきます。</p>	県南広域振興局	土木部	B

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>11 北上コンピュータ・アカデミーの今後の運営について 北上コンピュータ・アカデミーは、28年度までは、一定の条件のもとリース料に対し国による全額補助が継続されております。 同校の直近3年間（H26～28）の入学生の出身高校地区別状況は、ほぼ100%が県内高校の出身であり、その内訳は北上地区が20%、花巻・盛岡・県北地区が37%、胆江・一関地区が25%、その他は沿岸、気仙地区などとなっております。また、直近3年間（H25～27）の就職状況の内訳は県内が77%、県外が23%であり、卒業生の多くは広く県内でも活躍している現状であります。 また、入学生の状況については、昨今の好調な雇用情勢や少子化の影響もあって苦戦している状況もあり、県内における高度情報技術者の育成の観点から、以下の点について要望します。 [要 望] 同校が北上市内のみならず、広く県内の人材育成に寄与していることや、当市が製造業を中心に県内での産業集積地となっており、人材の育成が必要な地域性を有していることから、県立の高等教育機関が皆無である当地域の実情を考慮頂き、今後の運営については、例えば、県立施設として位置付けや北上情報処理学園に対する県の関与を深めていただくなど、県によるこれまで以上に強力な支援をお願いします。</p>	<p>北上コンピュータ・アカデミーは、開校以来多くの人材を輩出し、地域の情報化と経済の発展に寄与しており、継続して運営できるよう財源の確保を図ることが重要と考えています。 そのため、平成28年度のコンピュータリース料について、北上市と連携して国に働き掛け、国の職業能力開発校設備整備費等補助金（旧情報処理技能者養成施設設備整備事業費）により支援措置が継続されたところです。 また、平成28年6月1日には、北上市と連携し、厚生労働省に対し、「平成29年度以降の職業能力開発校設備整備費等補助金による支援（国による全額支援）の継続」について要望しており、さらに、平成28年6月7日には、県の平成29年度政府予算要望において、厚生労働省に対し、平成29年度以降の支援の継続を要請しています。 これに対し、厚生労働省では、平成29年度も平成28年度と同様の予算を確保できるよう努めるとしています。 今後も、北上市との緊密な連携のもと、引き続き、「国の全額負担による財政支援の継続」について取り組んでいきます。</p>	県南広域 振興局	経営企画 部	B

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>12 岩手県よろず支援拠点県南サテライトの設置について いわて産業振興センター内に設置された「中小企業庁岩手県よろず支援拠点」については、産業集積が進む北上市の利用が盛岡市に次いで2番目となっておりますが、県南地域の占める割合は全体の2割程度と盛岡周辺以外では利用が十分に進んでいない状況も見受けられます。当市のほか県南地域は製造業が集積しており、業況拡大を目指す等の理由から、本支援拠点の経営指導を必要とする潜在的需要が高い地域であり、事業所からは地理的に利用しやすい環境整備への要望も出されているところです。 既に東北地域でも秋田県、山形県、福島県においてサテライトを設置している事例もあります。 また、本要望はいわて産業振興センター理事長（平成28年1月26日持参）及び岩手県知事（平成28年1月28日持参）に対し、北上市、北上商工会議所、北上工業クラブ、北上ネットワーク・フォーラム4者連名で要望しております。</p> <p>[要 望] 広大な面積を有する本県の事情を考慮すれば同様の拠点が複数箇所必要と思われますので、県南地域をターゲットとした本支援拠点サテライトを、北上市基盤技術支援センター内に設置するなど相談支援体制を強化するよう要望します。</p>	<p>よろず支援拠点では、商工団体や金融機関と連携して、これまでに約12,000件の相談に対応しています。 また、遠隔地の事業者に対応するため、各地に出向いて「移動相談会」を実施しており、平成28年度は、これまで延べ90回、360件を超える相談に対応しています。 ものづくり産業が集積する県南地区においても、平成28年10月以降、この相談会を月3回から7回に増やし、相談機能の強化を図っているところです。 よろず支援拠点では、サテライト拠点の設置も含めて、中小企業者のニーズに応える相談・指導機能を発揮するため、当面、人材の確保・充実を図ることとしており、国とも協議しながら体制の整備を進めることとしています。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>13 新規学卒者等の県南地域定着に向けた取組みの強化について 北上職業安定所管内の平成28年3月新規高等学校卒業者の求人・就職状況は、求人数594人に対し就職希望者が286人となっており、求職希望者を大きく上回る求人数が続いております。 現状では、限られた地域内だけでの人材確保には限界があり、県全体で課題を抱えていると考えられ、県外への人材流出を食い止め、県内への人材確保の強化が必要であることから、以下の点について要望します。 [要 望] 県外への人材流出を防ぐ観点から、県が主導的役割を担い、県内における有効求人倍率の高い地域への就職に結び付くよう、県全体として他地域への企業情報の提供や就職面接会など、具体的な人材確保策を講じていただくよう要望します。 併せて、県全体のU I Jターン施策として、岩手県への就職を希望する方の情報を県内各自治体が共有し、取組みに活用できるような仕組みの構築を要望します。</p>	<p>県では、高卒者に対しては、各広域振興局等に就業支援員を配置し、企業訪問や高校との連携を強化して高卒者の県内就職を促進しており、大卒者等に対しては、岩手労働局やふるさといわて定住財団と連携した県内外での就職面接会などの開催により、マッチングの充実を図っているところです。 今年度は、「いわてで働こう推進協議会」による岩手の仕事・就職情報サイトの運営により、県全体の就職イベントや県内企業情報などの就職情報を発信するなど、オール岩手で人材確保に取り組んでいるところです。 U I ターン施策については、平成28年7月に、東京のふるさと回帰支援センター内の「いわて暮らしサポートセンター」の相談スペースを拡張し、新たに就職活動のサポートを行うキャリア・カウンセラーを配置して、移住・定住と就職との一元的な対応を行うための体制を強化しました。これを踏まえ、岩手県Uターンセンターと連携して、首都圏を中心としたU・Iターンの促進を図っていくこととしています。 県では平成28年度、市町村U・Iターン担当者を対象とした勉強会を開催し、U・Iターン施策の情報共有を図ったところです。また、「岩手県U・Iターンシステム」の運用により、本県へのU・Iターン希望の求職登録者と求人登録企業についてマッチングを図っているところですが、県内市町村との情報共有については、今般のシステム改修により、各市町村のU・Iターン支援担当課の利用が可能になりましたので、積極的に活用ください。 なお、平成28年3月から厚生労働省において「求職情報提供サイト」を通じ、一定の要件を満たした地方自治体などが求職者に対して、職業紹介や各種情報提供を行うことができるサービスを開始したことから、貴市においても活用を御検討ください。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B</p>

北上市

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>14 北上済生会病院新病院建設に対する支援について</p> <p>北上済生会病院は、施設の老朽化が進み、これに加え一部耐震性に難があることから、旧県立北上病院跡地に新病院を建設する方向で準備を進めているところであり、平成32年度に開院を目指しております。</p> <p>当病院は、長年にわたり当市の中核病院として、県立中部病院とともに急性期を担うほか、当市にとっては回復期を担う唯一の病院であり、市民にとって欠くことのできないものとなっております。</p> <p>また、「地域周産期母子医療センター」がない医療圏の胆江地区の金ヶ崎町や奥州市からも周産期医療の外来や入院患者が来院しており、2つの医療圏にまたがる広域性のある重要な医療機関となっております。</p> <p>さらに、当病院は、恩賜財団済生会（岩手県済生会会長 岩手県知事）としての使命から、生計困難になった方に対し「無料低額診療事業」を実施しており、その社会的存在意義は大きいものとなっております。</p> <p>[要 望]</p> <p>当市としては、地域医療を支えるため、この新病院建設を、全面的に支援することとしており、その存在意義や広域性を考えた場合に、県と一体となった支援が必要と考えます。</p> <p>さらに、都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画に新病院を位置付けることで、新たに医療福祉の観点も含めたまちづくりの実現を目指しており、その実現のため、「都市再構築戦略事業」の導入を検討していることから、この点からも御支援をお願い</p>	<p>病院建物の老朽化等による建替等については、医療施設近代化施設整備事業により補助を行っているところですが、北上済生会病院の新病院建設に当たっては、公的医療機関として地域医療に果たす役割の重要性に鑑み、県としても一定の条件の下で必要な支援を検討していきます。</p> <p>「都市再生構築戦略事業」の導入に係る支援については、県としても、これからの安定・成熟した都市型社会の中では、地域の特性を活かしたまちづくりを進めていくことが求められていることと認識しており、「都市再生構築戦略事業」の導入に向けた着実な事業進捗が図れるように、貴市と連携のうえ関係機関と調整を図りながら支援していきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>保健福祉環境部、土木部</p>	<p>B</p>